国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和　8年11月　6日
九州地方整備局
川内川河川事務所

川内川水系流域治水シンポジウムを開催します。

～みんなで考えよう！“避難”スイッチ！～

川内川水系流域治水協議会では、平成 18 年 7 月豪雨の記憶と教訓を次世代へ継承するとともに、「事前防災」や「早めの避難」について流域の皆様と一緒に考え、命を守る行動につなげていただくことを目的として、「川内川水系流域治水シンポジウム」を開催します。

当日は、親子で楽める「防災情報展示・体験コーナー」も同時開催し、防災学習コーナーや避難所体験、ドローン体験などを企画しています。
また、車で来場される場合は、最寄りの駐車場をご利用ください。　※詳細は別添参照

●取材希望の報道機関は、事前登録ください。別紙１「事前申込書」を提出ください。
（事前登録受付：令和８年１１月１３日（金）１２：００まで）

記

【川内川水系流域治水シンポジウム】　※詳細は別添参照

開催日時　令和８年１１月１５日（日）１４：００～１６：００
（防災情報展示・体験コーナー　１３：３０～１６：３０）

会　　場　薩摩川内市川内駅コンベンションセンター
SS プラザせんだい　ヴィーナ・エナジーホール（多目的ホール）

主　　催　川内川水系流域治水協議会
（国土交通省川内川河川事務所、国土交通省鶴田ダム管理所、鹿児島県、宮崎県、薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市、気象庁鹿児島地方気象台、気象庁宮崎地方気象台、林野庁北薩森林管理署、森林研究・整備機構鹿児島水源林整備事務所）

後　　援　川内川流域連携ネットワーク（河川協力団体）

【問い合わせ先】
国土交通省　川内川河川事務所　技術副所長　平岡　博志
流域治水課長　安達　幹治
電話：0996-22-3271（代表）
0996-22-3359（直通）

平成18年7月豪雨から20年

川内川水系流域治水シンポジウム

平成18年7月、記録的な豪雨が川内川流域を襲い、3市2町に甚大な被害をもたらしました。
あれから20年。気候変動の影響により、全国各地で災害の頻発化・激甚化が進んでいます。
「事前防災」と「早めの避難」を一人ひとりが自分事として考え、
命を守る行動につなげていただくきっかけとなるよう、本シンポジウムを開催します。



日時 令和8年11月15日(日)
14:00 ～ 16:00
防災情報展示・体験コーナーも同時開催（13:30 ～ 16:30）

会場 JR川内駅から徒歩すぐ！
薩摩川内市川内駅コンベンションセンター
SSプラザせんだい ヴィーナ・エナジーホール(多目的ホール)
薩摩川内市平佐1丁目18番地

<プログラム>
1．開会挨拶　田中良二（薩摩川内市長）
2．基調講演　小松利光（九州大学名誉教授／川内川学識者懇談会委員長）
　<テーマ>川内川のこれから
3．パネルディスカッション
　<テーマ>みんなで考えよう！“避難”スイッチ！
　○事例紹介　槙原聡美（川辺復興プロジェクトあるく代表）
　<テーマ>平成30年西日本豪雨に伴う「避難」経験からの学び
　そして「逃げて守る」～「備えて守る」の取り組み
　○コーディネーター　山田 誠（鹿児島大学名誉教授）
　○パネリスト　今村 聡（世界自然遺産を目指す川内川あらし協議会会長）
　大久保洋一（南日本放送編成局資料センター担当部長）
　田中光行（NPO法人ひっ翔べ！奥さつま探険隊理事）
　○コメンテーター　森北佳昭（一般財団法人経済調査会顧問）
　小松利光（九州大学名誉教授）
4．閉会挨拶　原田隆二（国土交通省川内川河川事務所長）

親子で学べる楽しめる
体験がいっぱい！

防災情報展示・体験コーナー

ゆるキャラ大集合！



TEC-FORCE服を着てみよう！



ペーパークラフトをつくろう！



ドローン体験



避難所体験



他にもいろいろ！くわしくは裏面へ！

参加費 **無料** どなたでも参加できます

主催 川内川水系流域治水協議会
（国土交通省川内川河川事務所、国土交通省鶴田ダム管理所、鹿児島県、宮崎県、薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市
気象庁鹿児島地方気象台、気象庁宮崎地方気象台、林野庁北薩森林管理署、森林研究・整備機構鹿児島水源林整備事務所）
後援 川内川流域連携ネットワーク（河川協力団体）

詳細はホームページで！

平成18年7月豪雨から20年

川内川水系流域治水シンポジウム

＜テーマ＞　みんなで考えよう！“避難”スイッチ！

集まろう、聞いてみよう、備えよう！一人の判断が家族を救う、みんなで考える「わが家の避難作戦」

～早めの避難で何も無くてよかったねといえるように～

＜シンポジウムプログラム＞　14:00～16:00

1.開会挨拶　田中良二（薩摩川内市長）

2.基調講演　小松利光　＜テーマ＞ 川内川のこれから

3.パネルディスカッション

○事例紹介　槙原聡美

＜テーマ＞ 平成30年西日本豪雨に伴う「避難」経験からの学び
そして「逃げて守る」～「備えて守る」の取り組み

4.閉会挨拶　原田隆二（国土交通省川内川河川事務所長）



司会／四位笙子 氏
鹿児島県さつま町出身タレント

参加費 無料！
どなたでも参加できます



＜シンポジウム出演者＞

基調講演 コメンテーター	事例紹介	コーディネーター	パネリスト	パネリスト	パネリスト	コメンテーター
						
小松利光 氏 九州大学名誉教授 川内川学識者懇談会委員長	槙原聡美 氏 川辺復興プロジェクト あるく代表	山田誠 氏 鹿児島大学名誉教授	今村聡 氏 世界自然遺産を目指す 川内川あらし協議会会長	大久保洋一 氏 南日本放送編成局 資料センター担当部長	田中光行 氏 NPO法人　ひっ翔べ！ 奥さつま探険隊 理事	森北佳昭 氏 一般財団法人 経済調査会顧問

＜同時開催企画＞

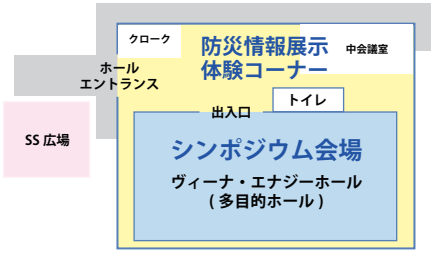
みて・さわって・体験しよう！

親子で楽しみながら防災を学ぼう！

防災情報展示・体験コーナー
（13:30 ～ 16:30）



防災情報展示・体験コーナー見取り図
＜SSプラザせんだいフロアマップ＞



ドローン体験
防災で活躍するドローンを
間近で見てみよう！



防災対策車のペーパークラフトをつくろう！



完成したらインフラカードをプレゼント！

TEC-FORCE服を着てみよう！



国土交通省の防災服を着て
記念撮影ができるよ！

ゆるキャラ大集合！



防災学習コーナー
タブレットや映像で
楽しく防災を学べるよ！



防災おやこ手帳で避難に備えよう！



避難ルールを
親子で考える
きっかけづくりに！



避難所体験
段ボールベッドや
パーテーションを
体験してみよう！



クイズラリーに参加して缶バッジをゲットしよう！

平成18年水害記憶・激特事業記録展

早めの避難が大切です。
あなたの避難スイッチはいつですか？

会場のご案内
薩摩川内市川内駅
コンベンションセンター
SS プラザせんだい
薩摩川内市平佐1丁目18番地



お願い
小さなお子様は
保護者同伴で
お願いします。

お問い合わせ
川内川水系流域治水協議会事務局
（国土交通省　川内川河川事務所）
TEL 0996-22-3271
（受付時間：平日 9:00 ～ 17:00）

イベントの詳細は
ホームページで！

川内川水系流域治水シンポジウム　駐車場案内図



駐車場料金

①SS プラザせんだい駐車場

区分	使用料
3 時間以内	無料
3 時間を超え 7 時間以内	1 時間につき 150 円増

※駐車券を施設受付窓口にお持ちいただくと 3 時間まで無料になります。

②川内駅平佐口駐車場（提携駐車場）

区分	使用料
3 時間以内	無料
3 時間以上	1 時間につき 150 円増

※駐車券を施設受付窓口にお持ちいただくと 3 時間まで無料になります。

③マルナカ平佐店（臨時駐車場）　※シンポジウム観覧者は無料

11 月 15 日 13:00～17:00

Google マップ

④臨時駐車場　※シンポジウム観覧者は無料

11 月 15 日 13:00～17:00

Google マップ

<別紙１>事前申込書

「川内川水系流域治水シンポジウム」取材事前登録

「川内川水系流域治水シンポジウム」の取材を希望される報道機関におかれましては、以下「事前登録書」を提出頂くようお願いいたします。

事前登録受付：令和8年11月13日（金）12：00まで

【取材に関する留意事項】
① テレビカメラ等による撮影は、当シンポジウムの妨げにならないよう行ってください。
② その他、取材にあたっては、係員の指示に従ってください。

・・

事前登録書

「川内川水系流域治水シンポジウム」の取材を希望しますので、以下のとおり登録します。

1. 報道機関名 ____________________

2. 登録者情報

氏名（代表者）____________________

連絡先（TEL）____________________

人数（代表者含む）________________

【連絡・送付先】
川内川河川事務所　流域治水課　　大澤　川村
TEL　0996－22－3271（代）
FAX　0996－25－0862
提出先　：　oosawa-k8910@mlit.go.jp
kawamura-y8910@mlit.go.jp